

城東産業(株)秋田工場・工場長の大高誠さんが 安全優良職長として厚生労働大臣顕彰



このほど、本町に事業所がある城東産業(株)秋田工場・工場長の大高誠さんが、「令和4年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰」を受けられました。

同社は、全国約3,000件の建築現場へ提供する仮設資材・機材のメンテナンス等を行っており、現場で

の無事故・無災害を支えています。大高さんは「いただいた顕彰状は、社員一丸による『現場へ不良品一つも出さない』という意識・行動の賜物です。この受賞を励みとし、今後も安全・安心な仮設資材・機材を提供し続けたいです」と、お話ししていました。

令和4年飲酒運転追放等の競争で 全県5位の本町が県知事表彰

2月20日、「令和4年秋田県飲酒運転追放等の競争」の表彰伝達式が町役場で行われました。

伝達式は、町交通指導隊、町交通安全協会の代表者らが出席のもと行われ、伊藤淳一秋田地域振興局長から渡邊町長へ表彰状が手渡されました。

この飲酒運転追放競争は、県が飲酒運転追放県民運動の一環で昭和63年から実施し、市町村ごとに運転

免許人口と飲酒運転による事故件数などの割合を算出し順位を競い合うものです。全県5位の表彰を受けて

渡邊町長は、「今回は5位となったが、酒気帯び運転が1件発生している。飲酒運転は重大な人身事故の引き金となる大変悪質なものであるため、飲酒運転・交通死亡事故ゼロを目指し、今後も町民一丸となって交通安全活動に取り組む」と話しました。



伊藤秋田地域振興局長から、渡邊町長へ表彰状が授けられました。

五城目町役場が 交通安全功労事業主表彰

2月3日、五城目町役場が「交通安全功労事業主」として表彰を受け、森田正敏県警察本部長と佐野元彦県事業主交通安全推進協会長の連名による表彰状が授与されました。

今後も、関係各機関と協力のもと、さらなる交通安全管理の徹底と交通安全思想の普及に取り組んでいきます。



町交通指導隊(渡部隆彦隊長)や町交通安全協会(宮川正作会長)の皆さんなどと連携し、各種活動に取り組んでいます。

「関係人口拡大ツアー」の オンライン報告会を実施

2月4日、昨年10月に実施し県内外の方々が参加した「関係人口拡大ツアー」のオンライン報告会を開催しました。

報告会には、ツアー参加者から6人、参加者とともに森山登山道の標識製作を行った「もっと森山をもりあげ隊」の皆さんのほか、この取り組みに興味を持つ一般の方々が多数参加しました。



▲ツアーの感想やその後の「もっと森山をもりあげ隊」の活動を報告しました。

れていることに感銘を受けた「今後も関わり続けたい」などの報告がありました。

輝け、五城目びと

第45回全日本川柳大会で ともに大会賞を受賞

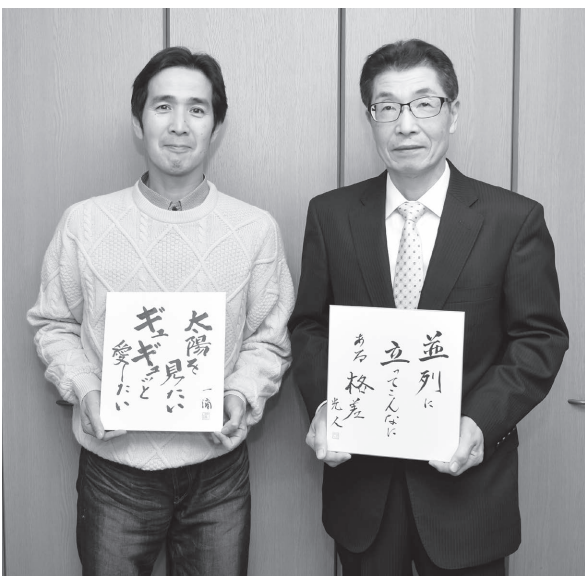
川柳すずむし吟社

渡部 光人さん⑥

荒川 剛さん④

(43歳・新畑町)

(68歳・大川)



誌上大会として行われた「第45回全日本川柳2022年富山大会」で、渡部光人さん(本名・光人)が大会賞(第5位)を、荒川一滴さん(本名・剛)が大会賞(第6位)を受賞しました。

一般参加者1,584人中、最高賞の文部科学大臣賞などを含めわずか14人という狭き門をくぐり抜けての入賞に、2人が所属する川柳すずむし吟社主幹の渡辺松風さん(79歳・新畑町、本名・誠一)は、「日本で一番権威のある大会で、同じ町の同じ吟社から2人が入賞するのは記憶がなく、とてつもない快挙。とても誇らしい」と話します。

今回の受賞作品は、渡部さんが「並列に立って

こんなにある格差」、荒川さんが「太陽を見たいギュギュッと愛したい」で、渡部さんは、「『立つ』という課題のもと、ニュース番組の各国の首相が横一列に並ぶシーンで、発言に影響力のある人もいればそうではない人もいるというところから着想を得た」と、荒川さんは「おばあちゃんと孫の間の愛を17文字で表現した」と、それぞれの句に込めた思いなどを話します。

ともに句作りに励む渡辺さんは、「どちらも、先人が築き上げてきた『芸術文化のまち・五城目』の次代を担う存在。今後も大いに活躍してほしい」と、2人へエールを送りました。



地域図書室 わーくるだより

みんなあつまれ!

新着図書や蔵書は「蔵書検索システム」からどうぞ。QRコードからのアクセスはこちらから→



「わーくる」イベント情報

「パンダのえほん修理屋さん」が わーくるにやってきます!

フォンテ文庫(秋田市)内で活動するボランティアグループ「パンダのえほん修理屋さん」が、わーくるで絵本の出張修理を行います。

▶日時 3月25日(土) 午前10時30分～正午

▶会場 地域図書室「わーくる」

▶内容 破損した絵本を無料で修理します。

※絵本の読み聞かせの時間も設けています。

☎・📍 地域図書室「わーくる」(☎838・1162)

新着図書の紹介

- 「地図と拳」 小川哲/集英社
- 「荒地の家族」 佐藤厚志/新潮社

おすすめの1冊!

⑨

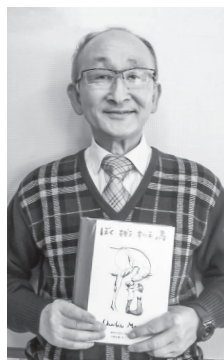
「ぼく モグラ キツネ 馬」

チャーリー・マッケジー/飛鳥新社

不思議な絵本がわーくるにあります。8歳でも80歳でも楽しめる著者は述べています。20分ほどで読み終え、また読みたくなります。

主人公「ぼく」はモグラ、キツネ、馬と出会い遠くまで旅をします。「ぼく」を中心に会話が進み、「生きること」を考え続けます。「ぼく」はこの旅を通して、確かに成長していきます。

「人生は難しい。でもきみはたしかに愛されているよ」「じぶんでどうにもならないと感じたときは……目の前にある大切なものをじっとみつめる」会話の一つ一つの情景が鮮やかです。読者を人生の旅へと誘う、お薦めの一冊です。



工藤 正孝さん
(もりやまこども園施設長)